福岡市公報　第6961号（別冊）

令和４年度　下半期

財政状況の説明

（一般会計・特別会計）

財政状況の公表に関する条例の定めるところにより、令和４年度下半期（令和４年10月１日から令和５年３月31日まで）における本市の財政状況を次のように公表する。

令和５年５月29日

福岡市長　　髙　　島　　宗 一 郎

福岡市の財政状況（第151回公表）

目　　次

ページ

1　令和５年度当初予算の概要 …… 1
⑴　編成の基本姿勢 …… 1
⑵　令和５年度予算の特徴 …… 2
⑶　予算総額 …… 2
⑷　一般会計予算額 …… 3
⑸　特別会計予算額 …… 5
2　令和４年度下半期における予算の執行状況 …… 6
3　市有財産の状況 …… 8
4　市債の状況 …… 9
5　一時借入金の状況（一般会計） …… 10

1　令和５年度当初予算の概要

⑴　編成の基本姿勢

令和５年度当初予算は、市債残高の縮減など財政規律を保ちつつ、子育て支援策を大幅に拡充するとともに、福岡市総合計画に沿った施策・事業を着実に推進する予算を編成したところです。

○　都市の成長の果実を活用し、次代を担う子供を安心して生み育てられる環境づくりを強力に推し進めます。

○　国内外から選ばれるまちにアップデートし、福岡のステージをさらに高めるための施策を推し進めます。

・次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

・魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

⑵　令和５年度予算の特徴

歳入面では、個人市民税における納税義務者数の増加や、法人市民税における企業収益の改善、固定資産税における新増築家屋の影響などにより、市税収入は令和４年度より増収を見込んでいます。それに伴い、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税等は減少する見込みですが、財政調整基金も活用することにより、一般財源総額は令和４年度を上回ると見込んでいます。

歳出面では、社会保障関係費や公共施設の老朽化による改修・修繕経費が増加しています。

令和５年度末の一般会計の市債残高は、令和４年度末と比較して、211億円の縮減となる見込みであり、満期一括積立金を除く全会計についても452億円の縮減となる見込みです。

⑶　予算総額

（単位：千円、％）

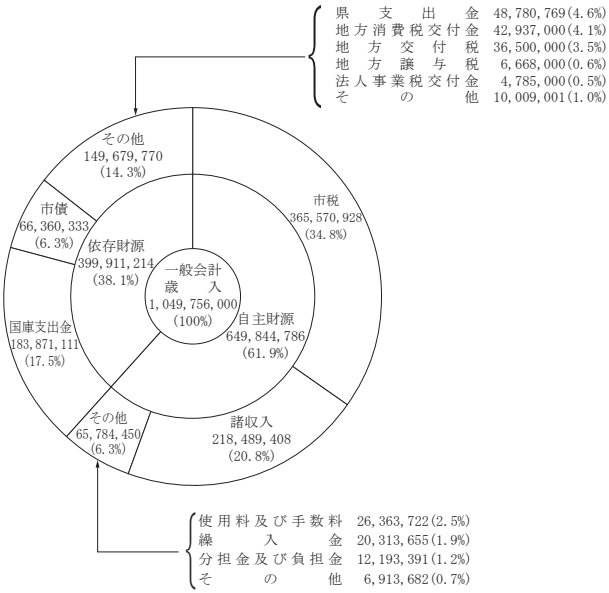
会計別	令和５年度予算額（当初）A	令和４年度予算額（当初）B	差引増減額 A－B＝C	対前年度伸率 C／B
一般会計	1,049,756,000	1,041,010,000	8,746,000	0.8
特別会計	700,726,477	715,523,605	△ 14,797,128	△ 2.1
企業会計	333,950,498	329,145,578	4,804,920	1.5
合計	2,084,432,975	2,085,679,183	△ 1,246,208	△ 0.1

⑷　一般会計予算額

（歳入）

歳入予算の主なものとしては、市税が3,656億円、構成比34.8％と最も大きな割合を占め、次いで、貸付金元利収入や宝くじ収入などの諸収入が2,185億円、構成比20.8％、国庫支出金が1,839億円、構成比17.5％となっています。

（単位：千円）



自主財源と依存財源

自主財源とは、市税や使用料等市が自主的に収入できるものです。

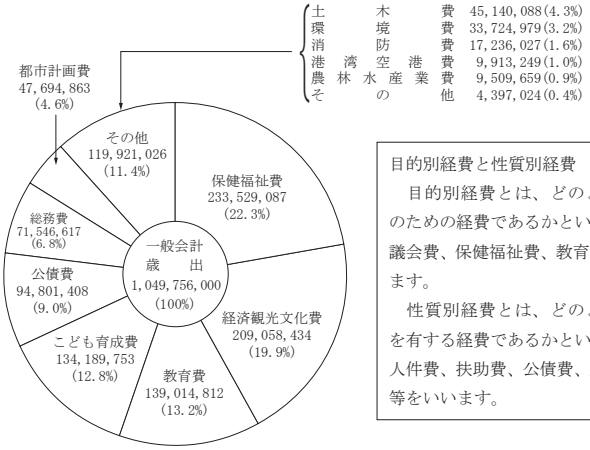
依存財源とは、国庫支出金や市債等国や県の意思決定等に基づいて収入されるものです。

（歳出）

歳出予算の主なものとしては、保健福祉費が2,335億円、構成比22.3％と最も多く、次いで経済観光文化費が2,091億円、構成比19.9％、教育費が1,390億円、構成比13.2％、こども育成費が1,342億円、構成比12.8％の順となっています。

また、歳出予算を性質別でみると、義務的経費が4,941億円、構成比47.1％となっており、投資的経費が932億円、構成比8.9％となっています。

目的別　（単位：千円）

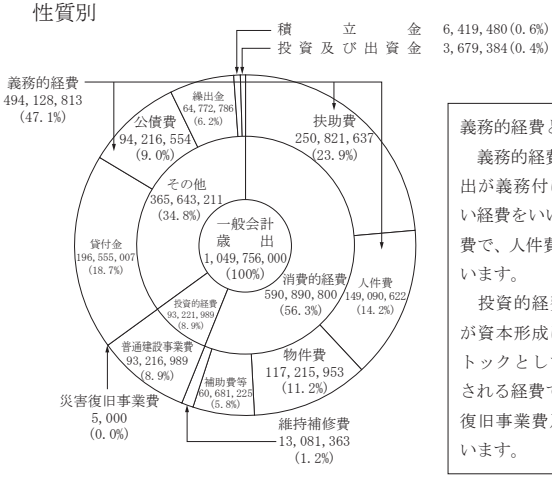


目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような目的のための経費であるかという分類で、議会費、保健福祉費、教育費等をいいます。

性質別経費とは、どのような性質を有する経費であるかという分類で、人件費、扶助費、公債費、維持補修費等をいいます。

性質別　（単位：千円）



義務的経費と投資的経費

義務的経費とは、歳出のうちその支出が義務付けられ任意に削減できない経費をいい、極めて硬直性が強い経費で、人件費、扶助費及び公債費をいいます。

投資的経費とは、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費をいいます。

⑸　特別会計予算額

（単位：千円）

会計名	当初予算額			説明
	令和５年度	令和４年度	差引	
後期高齢者医療	22,248,492	20,682,896	1,565,596	後期高齢者医療保険料等に関する会計
国民健康保険事業	142,096,624	140,133,860	1,962,764	自営業者の方々などが加入する国民健康保険事業運営のための会計
介護保険事業	120,018,279	117,424,387	2,593,892	介護保険事業運営のための会計
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,284,065	1,290,568	−6,503	母子父子寡婦福祉資金の貸付事業のための会計
集落排水事業	519,437	507,337	12,100	農業集落排水事業及び漁業集落排水事業運営のための会計
中央卸売市場	5,932,902	7,240,551	−1,307,649	中央卸売市場運営のための会計
港湾整備事業	14,788,722	34,804,171	−20,015,449	港湾整備事業運営のための会計
市営渡船事業	1,375,904	1,261,793	114,111	市営渡船事業運営のための会計
香椎駅周辺土地区画整理事業	1,897,044	934,526	962,518	香椎駅周辺地区の土地区画整理のための会計
貝塚駅周辺土地区画整理事業	1,326,716	490,327	836,389	貝塚駅周辺地区の土地区画整理のための会計
公共用地先行取得事業	0	0	0	公共用地の先行取得を図るための会計
財産区	294,633	285,304	9,329	財産区有財産の管理会計
市立病院機構病院事業債管理	806,907	810,630	−3,723	地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る公債を管理するための会計
市債管理	388,136,752	389,657,255	−1,520,503	一般会計、特別会計及び公営企業会計の公債を管理するための会計
合計	700,726,477	715,523,605	−14,797,128	

2　令和４年度下半期における予算の執行状況

令和５年３月末日現在の一般会計の予算の執行状況は、最終予算額１兆1,968億8,508万円（繰越額を含む。）に対し、歳入では１兆738億6,251万円、89.7％の収入率、歳出では8,923億37万円、74.6％の執行率となっています。一般会計及び特別会計の執行状況は、次のとおりです。

（歳入）　　（単位：千円、％）

区分	予算現在高	収入額			収入率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	1,196,885,084	369,635,110	704,227,397	1,073,862,507	89.7
市税	354,025,678	178,281,391	160,869,150	339,150,541	95.8
地方交付税	43,590,285	32,000,431	11,846,205	43,846,636	100.6
国庫支出金	261,781,905	77,025,083	161,407,771	238,432,854	91.1
県支出金	51,026,359	4,971,567	29,449,179	34,420,746	67.5
諸収入	238,876,639	10,971,872	222,858,180	233,830,052	97.9
市債	99,424,207	0	50,909,400	50,909,400	51.2
その他	148,160,011	66,384,766	66,887,512	133,272,278	90.0
特別会計	766,079,793	257,640,651	263,168,200	520,808,851	68.0
後期高齢者医療	20,669,539	6,885,629	9,387,362	16,272,991	78.7
国民健康保険事業	144,979,114	57,248,997	69,018,615	126,267,612	87.1
介護保険事業	118,258,411	47,045,557	49,057,520	96,103,077	81.3
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,290,568	1,243,105	260,884	1,503,989	116.5
集落排水事業	519,805	13,753	18,909	32,662	6.3
中央卸売市場	8,512,294	1,220,670	1,531,772	2,752,442	32.3
港湾整備事業	34,812,163	21,623,254	9,007,619	30,630,873	88.0
市営渡船事業	1,289,815	185,975	368,416	554,391	43.0
香椎駅周辺土地区画整理事業	2,494,795	1,562,087	4,401	1,566,488	62.8
貝塚駅周辺土地区画整理事業	491,527	0	71,887	71,887	14.6
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0.0
財産区	230,590	26,551	96,406	122,957	53.3
市立病院機構病院事業債管理	810,630	405,778	404,848	810,626	100.0
市債管理	431,720,542	120,179,295	123,939,561	244,118,856	56.5

（歳出）　　（単位：千円、％）

区分	予算現在高	執行額			執行率
		上半期	下半期	合計	
一般会計	1,196,885,084	506,420,092	385,880,277	892,300,369	74.6
保健福祉費	291,146,629	112,231,842	109,005,200	221,237,042	76.0
経済観光文化費	232,073,177	203,148,341	21,248,043	224,396,384	96.7
土木費	52,963,731	14,426,427	20,436,390	34,862,817	65.8
都市計画費	69,899,379	18,685,646	31,571,266	50,256,912	71.9
教育費	152,526,724	59,804,372	64,312,497	124,116,869	81.4
公債費	100,319,480	3,818	2,039	5,857	0.0
その他	297,955,964	98,119,646	139,304,842	237,424,488	79.7
特別会計	766,079,793	218,955,356	320,512,959	539,468,315	70.4
後期高齢者医療	20,669,539	5,891,679	13,796,306	19,687,985	95.3
国民健康保険事業	144,979,114	51,953,210	80,939,145	132,892,355	91.7
介護保険事業	118,258,411	48,967,689	58,566,057	107,533,746	90.9
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,290,568	64,695	94,170	158,865	12.3
集落排水事業	519,805	66,799	98,511	165,310	31.8
中央卸売市場	8,512,294	1,519,298	1,804,236	3,323,534	39.0
港湾整備事業	34,812,163	1,098,231	13,856,328	14,954,559	43.0
市営渡船事業	1,289,815	553,777	551,299	1,105,076	85.7
香椎駅周辺土地区画整理事業	2,494,795	18,159	1,576,403	1,594,562	63.9
貝塚駅周辺土地区画整理事業	491,527	139,612	100,858	240,470	48.9
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0.0
財産区	230,590	22,408	95,982	118,390	51.3
市立病院機構病院事業債管理	810,630	0	0	0	0.0
市債管理	431,720,542	108,659,799	149,033,664	257,693,463	59.7

3　市有財産の状況

市有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、船舶、航空機、地上権、備品、出資による権利、有価証券等をいい、これらの令和５年３月末日の現在高は次のとおりです。

区　　分	数　量	単　位	備　　考
土　　地	4,893	万㎡	公園、学校、山林等
建　　物	572	万㎡	市営住宅、市立学校等
船　　舶	7	隻	766t
浮　桟　橋	26	基	
航　空　機	2	機	
地　上　権	1,431	万㎡	立木等
備　　品	59,748	百万円	事務用、教育用機器等
出資による権利	111,944	百万円	福岡北九州高速道路公社等
有　価　証　券	3,324	百万円	
基　　金	384,556	百万円	財政調整基金等
債　　権	30,526	百万円	貸付金等
商　標　権	19	件	
著　作　権	2	件	
特　許　権	1	件	

4　市債の状況

道路、公園、学校やごみ処理施設等の大規模な建設事業は、短期に多額の費用を要するため、その年度の財源だけでは賄うことができません。そこで、政府や民間等から資金の長期借入れを行います。これらの施設は、将来にわたり利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができます。

（単位：百万円）

区分		現在高（令和５年３月末日現在）	構成比
一般会計		1,105,699	100.0 %
	臨時財政対策	444,725	40.2
	都市計画	303,881	27.5
	土木	191,526	17.3
	その他	165,567	15.0
特別会計		131,517	100.0
	港湾整備事業	83,240	63.3
	中央卸売市場	17,760	13.5
	香椎駅周辺土地区画整理事業	12,817	9.7
	その他	17,700	13.5
合計		1,237,216	
満期一括積立金		237,328	
合計（満期一括積立金を含む）		1,474,544	

※構成比の合計については、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

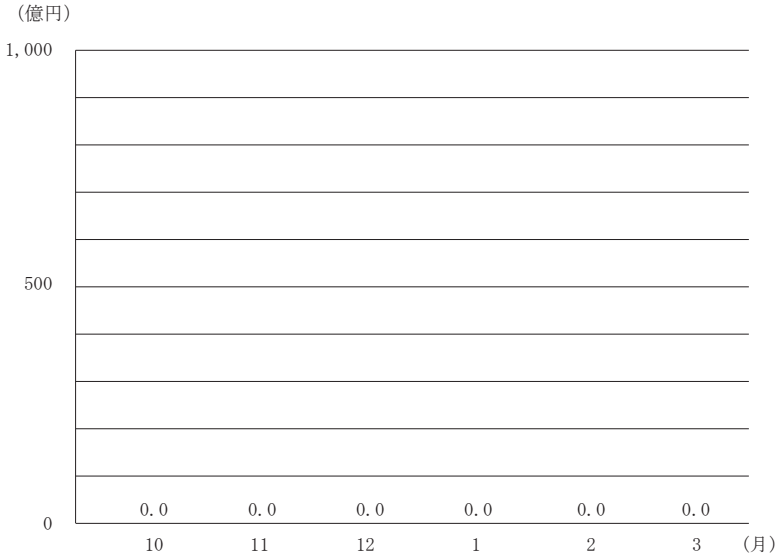
※満期一括積立金は、満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたものです。

5　一時借入金の状況（一般会計）

年度途中において、地方税、地方交付税、補助金、料金収入等の歳入が収入されるまでの間に生じる歳計現金の不足を補うために、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を、一時借入金といいます。

令和４年度下半期の各月における一時借入金の借入最高額は次のとおりです。

一時借入金（一般会計）



（注）一時借入金の限度額は、2,000億円。

印刷所 松影堂印刷株式会社

この印刷物は再生紙を
使用しています